

# 一般社団法人口カップジュニア・ジャパン

## 2022年度第4回理事会議事録

1. 日 時 : 2022年9月11日(日) 10:00~12:10

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル ZoomにてWeb会議

### 3. 出席者

(1) 出席者 11名(うち委任状提出者1名)

大橋健、水野勝教、今井俊二、野村泰朗、中島晃芳、島谷太、勝村航太、森重智年、松山森仁、政岡恵太朗、田中宏明(監事)

欠席者 無し

(2) 理事以外出席者 3名

前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)

### 4. 議 事

1. けいはんな大会の総括

・総括

・収支報告

・データ集計

・反省と来年に向けて

2. 2023名古屋大会について

3. 名古屋大会以降の会場について

4. ブロック長意見交換会について

5. その他

6. 議事録署名人の選定

### 5. 資 料

資料1. 開催報告書

資料2-1. ノード毎のエントリチーム数

資料2-2. 参加者アンケート

資料3. ボランティアスタッフ事故報告

### 6. 議事概要

#### (1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

#### (2) けいはんな大会の総括

①大橋代表より、コロナ感染者が1名発覚したが濃厚接触者も出ず、例年に近い数のチームにご参加頂き、無事に大会を開催することができたとの総評がなされた。資料2-1に基づき、参加チーム数の推移を説明、資料2-2に基づき、アンケート結果の紹介がなされた。

②収支報告について、島谷理事より、例年の大会と異なりRCJJ単独での大会開催となったため、大会単体の収支報告は行わず、年度末の本会計に含めた形で総会にて報告するとの説明がなされた。スポンサー収入が見通せない中で大会準備を行ったことから、会場費、設営費などを最低限の予算ですすめ、ボランティアスタッフにも無償でお手伝い頂いた結果、赤字を避けることができたとの説明がなされた。

③前田事務局長より、政岡理事、松山理事のご尽力により大会スポンサーを集めて頂きましたが、今後の運営のためには、RCJJの年間スポンサーとしても応援頂きたく、年間を通じての特典としては大会当日のブース出展や宣伝をして頂くこともできるとの提案がなされた。

④データ集計について、中島理事より、コロナ禍で参加人数が減少したことは仕方ないが、今後どのように参加人数を増やすかが課題との意見がなされた。水野専務理事より、昨年と同様に大会が開催できるブロックはあるが、コロナ以前のような活動に戻るのは、まだ厳しいとの意見がなされた。

⑤反省と来年について、森重理事より、資料3に基づき、ボランティアスタッフの事故について、発生状況、問題点、再発防止の説明がなされた。

⑥大橋代表理事より、サッカーとオンステージの順位変更について、担当理事に説明を求めた。これに対し中島理事は、オンステージの順位変更があった原因は、同意書の不備確認に時間がかかったこと、パドックとステージが離れており十分な情報共有が難しかったこと、コロナ陽性者が出てことにより、急きよオンライン審査を実施したこと等により、複数の人員が問題解決に奔走したことによる集計ミスであったとの説明がなされた。点数の発表は、十分な確認をした後に発表すべきであったとの反省がなされた。

⑦政岡理事より、サッカーの順位変更について、システムの不具合により順位が正しく算出されなかつたこと、スケジュールがタイトであったため、参加チームが減った等の情報共有が充分されなかつたことが原因と思われるとの報告がなされた。今後は時間に余裕をもって、集計確認をしたいとの反省がなされた。

⑧中島理事より、同伴者も含めたスタッフ登録に協力して欲しいとの要望がなされた。これについて今井理事より、同伴者と一般来場者の区別が難しいので、同伴者登録を廃止してはどうかとの提案がなされた。これに対し水野専務理事より、同伴者登録を実施したのは、メンターがひとりで小学生を引率するのが難しい場合、保護者を同伴者としたいとの要望があり設けた制度であるとの説明がなされた。大橋代表より、けいはんな大会でのコロナ対策として、来場者を制限、管理する目的での同伴者登録とは別であるとの説明がなされた。前田事務局長より、同伴者とメンターの違いを質問されることがあるので、メンターと同伴者を統一してはどうかとの意見がなされた。これに対し中島理事より、メンターはチームの責任者であることから、重要な連絡をすることもあるので、同伴者とは区別し1名のみをメンターとして登録したほうがいいとの意見がなされた。今井理事より、入場者の人数把握はどこまでする必要があるのかとの質問がなされた。これに対し水野専務理事より、けいはんな大会ではコロナ対策のため、事前にデータで提出した同意書と会場でエントリーした人の確認をする必要があったことから、その確認に大変な時間がかかった。今後の政府の方針にもよるが、入場者の名簿管理は引き続き必要な可能性はあるとの回答がなされた。また、小学生チームは引率者が必要なため、チームが入場するタイミングで保護者も入れる同伴者登録は必要ではとの意見がなされた。

⑨中島理事よりチーム番号の発番方法について、入金順にチーム番号が振り付けられているため、同リーグに同じ団体のチームがエントリーした場合、同じ団体のチームと対戦する事案があり、チーム番号の発番方法を見直してはどうかとの意見がなされた。政岡理事より、システム上対戦をランダムにすることは可能であるが、システムにしか分からぬためブラックボックスになってしまうとの意見がなされた。森重理事より、レスキューは個人戦のため（サッカーのような）問題はないが、チーム番号が決まるまで資料を配ることができないため、番号は早く欲しいとの要望がなされた。今井理事より、発番については、引き続き検討するとの回答がなされた。

### (3) 2023名古屋大会について

大橋代表理事より、開催委員会と実行委員会を立上げ、イベントの規制が緩和されることを見込んで一般来場者を入れ、観客席も設ける方向で話を進めているとの報告がなされた。

### (4) 名古屋大会以降の会場について

大橋代表理事より、例年では大会開催の2年前には開催都市を決定する必要があるが、2024年大会開催に立候補する都市が現段階では未定のため、ジャパンオープン開催をお願いしたい都市があるとの提案がなされ、満場一致で承認がなされた。

### (5) ブロック長意見交換会について

中島理事より、サッカーNLのフィールドについて、NLでもWLと同じフィールドを導入するアナウンスがされているが、WLのフィールドが高すぎて小学生ではロボットを中央に置くことができないため、何か対策を講じて欲しいとの要望がなされた。大橋代表理事より、情報共有としてブロック長意見交換会で意見を伺うのはいいが、技術委員会で検討してもらうようにとの意見がなされた。

### (6) その他

①水野専務理事より、国際担当について、今年のタイ大会にも参加した政岡理事に国際担当に参加頂きたいとの提案がなされ、満場一致で承認がなされた。

②水野専務理事より、サッカー技術委員会副委員長の小泉氏より、本の企画について予算が欲しいとの要望がある旨、報告がなされた。前田事務局長より、企画書と見積書を提出頂き、検討のうえ予算を付けてはどうかとの意見がなされた。島谷理事より、事業領域拡大費として予算は5万円あるので、企画書を提出してもらえれば、予算を付けることは可能との意見がなされた。

③水野専務理事より、来年は理事改選年度のため、次の体制を検討する必要があるとの意見がなされた。野村理事より、国際担当は政岡理事に引継ぎを行っているため、来期以降の国際担当を引き続き行うかは検討中との意見がなされた。大橋代表理事より、成人年齢も引下げられたので、定款の見直しも必要になるとの意見がなされた。

本日の議事録署名人として、野村泰朗氏、及び勝村航太氏にお願いすることとなった  
以上、この議事録が正確であることを証します。

2022年9月11日

議長 大橋 健

議事録署名人 野村 泰朗

同 勝村 航太

